収　入

印　紙

連帯保証契約書

　債権者○○○○（以下、「甲」という。）と連帯保証人○○○○（以下、「乙」という。）とは、甲の債務者○○○○（以下、「丙」という。）に対する債権について、次のとおり連帯保証契約を締結する。

　（連帯保証）

**第１条**　乙は、甲に対し、丙が甲に対して負担する下記債務（以下、「本件債務」という。）について、丙の委託を受け、丙と連帯して保証する。

記

　契約年月日

　元金額

　返済期日

　利息

　利息の支払方法

　遅延損害金利率

　（催告の抗弁がないことの確認）

**第２条**　乙は、甲から本件債務について履行の請求を受けたときは、これを拒むことはできない。

　（検索の抗弁がないことの確認）

**第３条**　乙は、丙に弁済の資力があり、かつ、丙に対する強制執行が容易であることを証明しても、甲からの執行を拒むことはできない。

　（連帯保証人に生じた事由）

**第４条**　甲が乙に対してした履行の請求その他の事由は、甲及び丙が別段の意思を表示している場合を除き、丙に対しその効力を生じない。

　（債権者の情報提供義務）

**第５条**　甲は、乙から請求があった場合には、遅滞なく乙に対し、次の各号に定める事項について情報を提供しなければならない。

　(1)　主債務の元本債務及び従たる債務についての不履行の有無

　(2)　未払債務がある場合には、その債務の残額

　(3)　前号のうち、弁済期が到来している債務の有無及びその額

　（協議）

**第６条**　本契約に定めのない事項または本契約の規定に関して生じた疑義については甲乙協議のうえ解決する。

　（合意管轄）

**第７条**　本契約に関する紛争は、○○地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

　甲、乙と丙は以上のとおり合意し、その成立の証として、本契約書2通を作成し、各自、署名又は記名捺印の上、各１通宛所持するものとする。

　令和〇年○月○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　乙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　丙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞